

市議会だより

発行/君津市議会
編集/きみつ市議会だより編集委員会



市議会HP



君津市学校給食共同調理場完成予定図

12月

定例会の
あらまし

学校給食共同調理場新築に係る
契約の締結についてなど

議案31件、

請願及び陳情3件を議決



12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間の会期で開かれました。今定例会では、市長提出の27議案と委員会提出の1議案、議員提出の3議案、請願1件および陳情2件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件が継続審査、そのほかは原案のとおり同意・可決・採択となりました。一般質問では、11人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●議案第7号

君津市立小学校設置条例及び君津市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

反対

小糸中、清和中の統合後の校名について、周東中学校では違和感があり、小糸・清和地区の住民の合意形成がなされているのか疑問であるため、反対。

賛成

新校名については、現在各学校に通う児童生徒、その保護者、また、卒業生だけでなく、一般の方々など市内外から310件もの応募があった。その中から、各学校の地域代表者、保護者代表者、学校関係者が参加した統合準備室を中心を選定を進めるなど、その決定方法については極めて民主的な方法であり、妥当である。そのような適正なプロセスを踏み、さまざまな方々の想いが詰まった新校名については尊重すべきであると考え、賛成。

●議案第21号

小糸・清和地区中学校統合施設大規模改造工事請負契約の締結について

反対

学校再編第1次実施プログラムにおいて、拙速に学校統合が進展していくことには懸念があり、反対。

賛成

学校再編第1次実施プログラムにおける、小糸中、清和中の統合は、すでに大きく進展しており、本プログラムを推進していくためにも着実な実行が必要であると考え、賛成。

●陳情第7号

君津市における、受動喫煙防止対策に関する陳情

反対

この陳情を採択した場合は、本市の受動喫煙の防止対策は、自治体独自の基準を設けるのではなく、国の議論結果を待ち、国と同等の基準で行うべきと解される。しかし、本市には健康都市宣言があり、健康増進運動も行っている。また、特定健診の項目も国の基準より多い。今後、君津市を取り巻く環境が変化しても、いかようにも対応できるようにするため、反対。

●陳情第9号

子どもの受動喫煙を防止する取り組みを求める陳情書

反対

継続審査に対して

県単位での条例制定が必要という理由での継続審査では、千葉県が条例を制定しなかった場合はどうするのか。理由が適当でないため、反対。
※議案の審議結果については、4ページに掲載しています。

人事案件に同意

人権擁護委員

鈴木 良明 (広岡)
堀田 美恵子 (西坂田)
野月 裕子 (内箕輪)

教育委員会委員

小倉 洋一 (徳田)

議会本会議を配信中

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。

■配信内容

定例会及び臨時会の本会議

■注意

配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

■アクセス方法

- ①君津市トップページの「君津市議会」をクリック。
 - ②左側にある「インターネット中継」をクリック。
 - ③メニューからご視聴になりたいページを選択し、ご視聴ください。
- ※ご不明な点は、議会事務局 ☎(56)1476 へお問い合わせください。



◆議会基本条例策定に向けて

議会基本条例策定特別委員会の各委員から集約した意見をもとに、条例を構成する項目について協議をした結果、「最高規範性」、「法令順守」、「公平性・透明性」、「市民代表としての責任」、「情報公開・会議の公開」、「市長等の反問権」、「議会改革の推進」などの30項目に

ついて、盛り込むことに決定しました。議会基本条例を構成する骨子案が整ったことを受け、12月21日の議会全員協議会において全議員に報告を行い、骨子を最終決定しました。今後は、決定した骨子をもとに、具体的な条文の文言作成へ移行します。

広域廃棄物処理施設建設調査特別委員会を設置

君津地域広域廃棄物処理施設「株式会社かずさクリーンシステム」の操業は、平成38年度末で終了となっており、将来にわたり安全で安定した廃棄物処理が持続可能な施設規模、また建設費や経済性等、総合的に勘案し、より効率的な次期広域廃棄物処理施設建設に向けての調査研究をすることを目的として、広域廃棄物処理施設建設調査特別委

員会が設置されました。※今後の委員会開催日については、ホームページにて随時お知らせします。

◆委員名簿

- 委員長 Ⅱ 鶴田 剛
副委員長 Ⅱ 眞木好朗
委員 Ⅱ 船田兼司、佐藤葉子、石上聖、松本裕次郎、保坂好一、須永和良、橋本礼子、加藤喜代美、高橋明、小倉靖幸



市政を問う!!

一般質問 Q&A

第4回定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員による質問の大綱と主な質問・回答を通告順に掲載いたします。なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 靖幸議員 (君津創生)



・教育行政について
・保育環境の整備について
・広域連携による観光振興について
・時代の変化を踏まえた施策の推進について
・市道の安全対策について

保育環境整備

Q 宮下保育園は民間事業者での園舎建設が行われているが、君津地区のほかの5園の民営化はどのように考えるのか。
A 原則として保育園の位置は変えずに建て替える方針であり、貞元学校用地の活用方法を決定した上で、民間事業者による新園舎の建設を進める。保護者との対話を重視し、整備計画への合意が得られるよう努める。

Q 貞元学校用地に長期利用可能な園舎を建設し、基幹保育園として公設公営としてはどうか。
A 基本方針では、民間活力を積極的に導入しているが、君津地区の保育園の個々の事情も考慮し、より良い保育環境整備に努める。

インター周辺の土地利用

Q 君津インター周辺の土地利用についての検討状況を伺う。
A 君津インター周辺については、市街地調整区域のまま農業と調和を図った土地利用を検討しているが、実現していない。農村地域工業等導入促進法や企業立地促進法が改正されたことから、可能となる土地利用について、調査研究している。

市道の安全対策

Q 中小学校の安全対策の進捗よく状況と以前提案した学校敷地を活用した歩道整備について伺う。
A 中小学校周辺の市道泉・中島線をゾーン30に指定するとともに、路肩にグリーンベルトを整備した。また、小学校統合により、校舎は中小学校を使用し、スクールバスを導入予定であることから、道路拡幅の必要性について検討する。

保坂 好一議員 (君津創生)



・教育行政について
・福祉サービスの充実について
・入札契約に関することについて

いじめ防止対策

Q いじめに関する理念と進め方はどうか。
A 基本理念に、いじめは絶対許さず、子どもの気持ちに寄り添い守ること、社会全体で取り組むことを明示し、さらなる強化を図っていきたくと考えている。

特色ある学校づくり

Q 導入の意義と進捗はどうか。
A 学校と保護者、地域が教育目標や地域ビジョンを共有し、一体となつてより良い学校を作ることや、学校や子どもたちの力を地域活動に生かすことが可能となるもので、平成30年度からの導入に向け、関連規則の整備など、着実に準備を進めている。

学校再編第2次実施プログラム

Q プログラム進捗よく状況はどうか。
A 君津地区内の保育園、学校の保護者を対象とするアンケートを実施し、3,396件の回答があり、現在集計を行っている。この地区における再編の構想的なものを提示できるよう努めている。

福祉サービスの充実 高齢者や障害者の権利擁護

Q 日常生活自立支援事業の問題点と今後の課題について伺う。
A 現在の職員体制では新規の需要に応えられなくなっていること。利用者の一部が病気の進行により本制度の利用に堪えられなくなつてきており、後見人制度に移行する必要があることなどが挙げられる。

Q 法人後見人制度を実施するには、どのような課題をクリアすれば良いか。
A 社会福祉協議会で実施できればよいが、体制の整備が課題になる。

野上 慎治議員 (公明党)



・君津市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
・子どもが育つ学校・地域づくりについて
・安心で快適なまちづくりについて

子どもの貧困対策

Q 保育園、学校と連携して福祉を進めるスクールソーシャルワーカーが必要だと考えるが、見解を伺う。
A 国では、平成31年度までにスクールソーシャルワーカーを全ての中学校校区に配置する計画を示している。本市においても子どもの貧困に気づき、子どもの置かれた環境への働きかけ等を支援するために、スクールソーシャルワーカーの有効性について検証する。

いじめの早期発見

Q いじめの早期発見にSNSを活用する試みが注目されている。
A 本市でもSNSを活用した、いじめ相談体制の構築に取り組んでほしいが見解を伺う。

Q SNSを活用した相談については、長野県や大分市、柏市が取り組んでおり、その有効性については十分認識している。本市では、SNSを活用し、検証している自治体と情報共有を行いながら調査研究を進めている。導入については今後検討する。

周西幼稚園閉園後の活用

Q 閉園後の活用について、どのような手順で話し合われ、決定されるのか。また、地震以外の災害避難場所として指定されているが、閉園後も避難場所として活用できるのか伺う。
A 今後、公共施設の再編に伴い、増加が見込まれる空き公共施設等の利活用を着実に推進するために、統一的な事務処理の手順を定め、全庁的に取り組む必要があると考えており、現在、この手順について検討している。避難場所としての指定については、その後の活用の方向性によって判断をする。

佐藤 葉子議員 (公明党)



・市民が手軽に外出できるまちづくりについて
・健康と命を守る取り組みについて
・住みやすいまちづくりについて

市民が手軽に外出できるまちへ

Q 超高齢化社会における交通計画の視点として、長期的な交通政策と個々のニーズを支援する福祉施策を併せて全庁的に進めていくことが重要だが、見解を伺う。
A 両方同時に進めることが重要と認識している。持続可能な地域公共交通の確立を踏まえ、将来を見据えた施策の推進に取り組む。

本市でピロリ菌検査導入を

Q 胃がんの罹患率は高いが、検診受診率は他のがんと比べて低い。胃がん予防効果の高いピロリ菌除菌を促す検査を本市で導入しないか伺う。
A 胃がん検診受診者の選択肢を増やすために、君津木更津医師会や近隣3市等を含め検討していく。

ウイルス性肝炎重症化予防を

Q 肝がんの原因の80%がB型・C型肝炎ウイルスによるもの。治療は飛躍的に進歩しており、飲み薬で鎮静化や完治が可能となった。市が把握する陽性者に対する、最新情報の周知方法について伺う。
A 今後は、経口薬が有効とされる以前の検診で陽性とされた方を含めて、国や県のリーフレットを有効に活用して、早期治療につなげていく。

野良猫対策と地域猫の考え方

Q 飼い主のいない猫と共生していくために有効な方法として注目される、地域猫活動の推進について、見解を伺う。
A 住民合意のもと、地域に住み着いているノラ猫を地域猫として認知し、不妊去勢手術の実施、排泄物の処理などを行う活動で、トラップの抑止効果もあるとされている。今後、相談があった場合には、活動体制の構築に協力していく。

船田 兼司議員 (かがやき君津)



・教育行政について
・広域行政について

ごみの分別数が君津市19種類に対し木更津12、富津13、袖ヶ浦16

Q 本市では分別が多く、ごみ分別による市民負担が大きくなっているところだが、負担軽減について伺う。
A 市民の協力により、高い再資源化率を維持している。今後は、再資源化環境、処理経費等を見据え研究していく。

君津地域次期広域廃棄物処理事業

Q 建設用地の選定について伺う。また、時間のなかでの住民合意等、いつまでにと決めていくのか伺う。
A 建設用地は木更津市以外の3市の沿岸部工業地帯で検討しており、地権者との交渉、住民説明を含め、平成30年度中の決定を目標としている。

Q 先般、新聞報道された鴨川・南原総・飯沼の安房地域2市1町からの協議参加し入れについて、本市の対応を伺う。
A 事業連携の可能性を判断するため、君津地域4市の市長連名で、協議への参加を了承する旨を回答した。

Q 安房地域2市1町との連携によるメリット、デメリットを伺う。
A 広域化によるスケールメリットにより、建設費用の本市負担分の削減及び廃棄物処理単価の縮減が想定される。デメリットは、本市を通過する塵芥車の増加、また候補地選定の障壁となる可能性もある。

君津地域水道事業統合広域化の効果

Q 平成28年4月に改定した、現行の水道料金は、いつまで維持できるのか伺う。
A 平成30年度まで維持し、平成31年度から新たな料金体系とする計画となつてはいたが、統合に伴う事務の集約化などにより、平成36年度まで改定を延ばせると見込んでいる。

※ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。

石上 豊議員(きみつ未来)



・防犯活動の拠点整備について
・君津市景観計画について
・保育環境の整備について
・防災・災害対策について
・スポーツ振興について

防犯ボックスの設置、運用

Q 防犯ボックスの設置が本市で初めて北子安公園内に決まったが、この場所に決定した経緯とあるべき姿を伺う。

A 設置場所としては、北子安地区が住宅密集地であるにもかかわらず、近くに警察施設がなく、地元自治会からの要望等を踏まえ、君津警察署と協議し、君津市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会における審議を経て、北子安公園の東南側を選定した。原則、毎日午後2時から午後10時まで開設し、地域の自主防犯団体との合同パトロールを行うほか、児童、生徒の見守り活動や街頭監視など、地域に密着した防犯活動を推進し、地域の防犯力の向上を目指している。

災害廃棄物対策

Q 大規模災害発生時の災害廃棄物対策に係る行動指針の策定状況について伺う。

A 県では、今年度末までに災害廃棄物処理計画の策定を予定。平成32年3月までに県下全市町村が災害廃棄物処理計画の策定を終えることを目標としている。本市としても、大規模災害に備え、国の災害廃棄物対策指針や千葉県災害廃棄物処理計画を踏まえ、早急に計画を策定していく。

既存施設の機能発揮

Q 地域女子サッカーチームとの連携により、女子リーグ戦が初めて松丘スポーツ広場で開催されたが、既存施設を活用したスポーツ振興の取り組みについて伺う。

A 今回の試合の効果について検証し、スポーツ振興や地域振興など、多くの効果を生み出せるよう、既存のスポーツ施設の活用を推進していく。

松本 裕次郎議員(きみつ未来)



・君津市まちづくりについて
・創生総合戦略について
・健康やかに暮らせるまちづくりについて
・活力あるまちづくりについて

特定不妊治療助成事業

Q 近年、日本では不妊治療が進み、高額な費用や治療の負担などを軽減する公的支援や技術向上の後押しを受け、受診者は増加傾向にある。本市でも不妊治療に対して助成を行っているが、現在の状況について伺う。

A 本市では、平成25年度より特定不妊治療に対する助成を行っている。初年度は25件であったが、平成28年度には42件と増加している。また、平成29年度からは男性不妊検査についても1年度1万円を上限に助成を行っている。

Q 今後、女性への助成の増額と男性に対しての助成の拡大は検討されているのか伺う。

A 今後も国・県や近隣市の動向を注視し、より効果的な運用となるよう、申請状況の推移に応じて事業の検討をしていく。

企業誘致の推進

Q 企業を誘致すれば地域の活性と定住人口の増加につながると思われるが、現在の状況について伺う。

A かずさアカデミアパークで2件、他の地区で1件の新たな企業進出が行われたほか、農業分野においても操業開始に向けた整備が行われている。現在、アカデミアパークについては、本地域の用地がほぼ立地している状況で、農業分野の企業立地は本市の特性が生かされたものとして理解している。そのほかにも立地を考えている企業はあるのか伺う。

Q 現在、小糸地区の長石地先において整備中の企業がある。そのほか、市内への進出意向のある企業、数社に対して、誘致に向けた折衝を行っている。今後幅広い業種の企業誘致に取り組んでいく。

平田 悦子議員(きみつ未来)



・ごみの発生抑制策について
・高齢者福祉について
・SNSの活用について
・子どもの体力と運動能力の向上について

食品ロス削減の取り組み

Q 全国おいしい食べ盛り運動ネットワーク協議会に加入し食品ロス削減に向けた活動を行うべきと考えるが見解を伺う。

A 本市では、食品ロスの啓発を始めたところで、また具体的な取り組みが足りないこと認識している。協議会への加入を前向きに検討していく。

高齢者福祉サービス事業

Q 高齢者福祉サービス事業において、サービスを受けられる条件が「二人暮らし」に限定されている事業がいくつある。対象者の定義を考え直す計画がないか伺う。

A 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯は増加傾向にあることから、対象範囲を見直す必要があることを認識している。

SNSを活用した君津市のイメージアップ

Q 現在運用されているSNSでのきみびよんの活用とLINEでの活用について、どのように考えられているのか伺う。

A 10月からはきみびよんの公式インスタグラムを開設し、市の魅力発信を行っている。きみびよんのLINEスタンプについてはPR効果はあるため、制作についてはPRと協議していきたいと考えている。

子どもの体力と運動能力の向上

Q 授業や外遊びで使用するグラウンドの水はけが悪いため改善してほしいという連絡が来ている学校はあるか。

A 今年度要望があったのは、八重原小学校、南子安小学校、周西中学校である。

Q 今後のグラウンドの改善についてどうしているのか見解を伺う。

A 水はけの抜本的な改善は大規模な工事が必要であり多額の費用が見込まれる。学校からの要望も考慮し検討していく。

三浦 道雄議員(諸派・日本共産党)



・行政運営について
・教育行政について
・医療福祉行政について
・環境行政について

行政運営

Q 市民不在で進められている3つの広域行政市民説明会等は実施するのか。1 広域ごみ処理施設事業、2 広域水道事業、3 広域火葬場建設事業の3点について現況を伺う。

A 広域ごみ処理施設について、次期施設建設に向け施設規模や処理方式、事業形態等の基本構想について協議しており、来年度中の建設用地決定を目的に選定作業を進めている。

Q 水道事業の広域化については、君津地城水道事業統合広域化基本計画案の意見公募を経た後、平成31年4月の事業統合に向けて、平成29年10月30日に基本協定を締結した。

Q 火葬場の広域化については、(仮称)木更津市火葬場整備運営事業基本構想について、既に意見公募を完了しており、現在作成中である基本計画についても平成30年1月に意見公募を行う。

学校再編・統合は見直しを

Q 学校再編第1次実施プログラムの見直しを求めるが、見解を伺う。

A 学校の再編・統合は、子どもたちにとってより良い教育環境を目指すものであり、必要、子どもたちのことを第一に考え、プログラムを着実に推進していく。

Q 学校統合準備室を一時凍結していたが、見解を伺う。

A 準備室は、決定されたプログラムに基づいて統合を円滑に進めるための実務的な組織である。予定されている統合年度に間に合うように、スクールバス、校名、校歌、制服、教育課程、学校行事等、さまざまな項目について、現在、各部会で精力的に検討しているところ。凍結はしない。

須永 和良議員(諸派・新風)



・県立高校の統合について
・インフラ整備について
・小糸川の整備について
・公共交通について

君津台と陽光台を結ぶ道路の整備

Q 君津台と陽光台を結ぶ道路は、市民から「お墓のところが道路」と呼ばれているが、非常に狭く湾曲している車のすれ違いができない。以前から拡張を要望しているが、進捗はどうか。

A これまで道路の現況調査を行った。引き続き道路拡幅に必要となる用地取得の可能性について検討していく。

Q 地権者に意向確認するという事ではないか。

A 地権者に売却の意向を確認している。改善は進んだか。

久保山北子安線の整備

Q 久保山北子安線が整備された場合、陽光台・北子安の開発をどのように進めるか。

A 久保山北子安線の未整備区間は市街地調整区域であるが、要件を満たせば給油所や沿道サービス施設が立地可能である。

Q 整備されれば交通量が増える。市役所から畑沢に向かって最初の信号の右折車線の整備についての見解は、久保山久保線の右折レーンの必要性については、今後研究していきたい。

台地区の浸水対策

Q 平成25年の台風26号において、台地区は浸水被害を受けた。その対策について伺う。

A 平成28年度にマンホール内に水位計を設置し、水位上昇を早期に察知できるようにした。また、ポンプを設置し、強制排水して浸水被害を軽減させる減災対策を考案し、平成29年度に実施設計している。今後も早期に整備できるように取り組んでいく。

下田 剣吾議員(諸派・きみつ改革)



・市民の役に立ち役所であらためて産業振興について
・市民の安全安心について
・市役所の活用について
・消防政策について
・さらなる本市の文化振興のために市民の命を守る防災対策について
・安全な保育園にするために

市外ダンパーカーの安全対策を

Q 東京五輪を前に山砂採取場等への往来が活発だが、横断歩道の児童を渡らせない、ごみのポイ捨てなど以前はなかった苦情がある。関係団体への啓発について伺う。

A 関係団体に、より一層の安全運転に理解を求め、警察等と協力していく。

消防団員と家族の負担軽減は

Q 人口が減少する本市では消防団員とその家族の負担が増えているが、改善は進んだか。

A 8月に設置した委員会、中山間部だけでなく各地域で減少する人口を踏まえ、分団統合や定数見直しの検討を進める。

本市だけ遅れている保育園耐震化

Q 老朽化が放置されている市立保育園の安全対策等について、具体的にどう取り組むか。

A 民設民営による保育園建て替えと別に、民間の誘致や小規模保育の公募も行う。

Q 今年度当初の待機児童数と現在の数、また、年度末までにどれくらい増えるか予測するか。

A 4月時点で19人、12月現在で104人。今年度末は110人程度の見込み。

Q 千葉県全体の公立保育園の耐震化率は去年3月で80.7%。本市は25%で、船橋や千葉を除く51市町村の中で50位だ。近隣市が解決済みの市立保育園の問題は本市だけが遅れている。2年前の12月議会で副市長は「安全対策について緊急に検討する」と答弁した。待機児童の面、不安な中で仕事をしている保育士、子どもたちの身になって、しっかりした安全対策を実行していただきたいがどうか。

A 保育園の待機児童や安全確保は喫緊の課題であり、協議していく。

